

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科： 国語 科目： 言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1・3組：山田 ）（2・4・5・6組：染谷 ）

使用教科書：（ 大修館書店「新編 言語文化」 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重して能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	A 単元 読む「季節の言葉と出会う」（随筆） 【知識及び技能】 引用歌に注意し、桜に対する感性、文化的背景を理解する。【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成、展開を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 自然に対する感性を高める。	・指導事項 日本と外国での桜の感じ方の違いを整理させる。筆者の桜への思いをまとめさせる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用			○	【知識及び技能】 季語に対する感性、文化的背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成、展開を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に日本独特の季節に対する感性について理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	B 単元 「古文に親しむ」 古文入門 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音読により、古文のリズムを体感する。 【学びに向かう力、人間性等】 古文に親しむ。	・指導事項 歴史的仮名遣い、文語の決まりを確認させる。名作の冒頭を音読させ、リズムを体感させる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用			○	【知識及び技能】 歴史的仮名遣い、文語の決まりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音読により、古文のリズムや表現の特徴をつかんでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで古文を音読しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	C 単元 読む「児のそら寝」（説話） 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 説話の面白さを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 設問にそって説話の内容を読み取る。	・指導事項 本文と現代語訳の対応を確認させる、登場人物の心情を整理させる。 ・教材 教科書、単語帳、ワークシート ・ICTパソコンの活用			○	【知識及び技能】 本文と現代語訳の対応を理解している。児の心情表現を挙げ、心情を解釈できている。 【思考力、判断力、表現力等】 説話のストーリー展開をとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで古文を音読し、内容を読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	D 単元 読む「詩歌の調べ」 【知識及び技能】 短歌、散文の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 表現から適切に情景を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 詩歌を味わい、作者の思いや情景を鑑賞する。	・指導事項 詩歌を音読し、内容全体を把握させる、表現の効果やリズムを確認させる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用			○	【知識及び技能】 短歌、散文の表現の特徴を理解し、作者の心情をまとめることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 表現から適切に情景を捉えられている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで詩歌を鑑賞し、創作しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

2 学 期	E 単元 読む「羅生門」(小説)	【知識及び技能】 場面の展開に即して登場人物の心情を理解する。作者を含めた、近現代の文学史をおさえる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成、展開を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 自然に対する感性を高める。	・指導事項 各段落の場面の状況に即し、下人の心情をまとめさせる。老婆の主張について、整理させる。表現の特徴をまとめ、効果を考えさせる。作者や交友のあった作家について調べさせる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用				○	【知識及び技能】 場面の状況に即し、下人の心情をまとめている。老婆の論理を理解している。表現の特色や文学史を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 下人の行動の裏にどのような心情の揺れがあったかを考えている。作品の要旨をとらえ、記述できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に小説を読み、老婆の論理について考えを深めようとしている。	○	○	○	12
	定期考查							○	○		1	
	F 単元 読む「枕草子」(随筆)	【知識及び技能】 歴史的仮名遣いに慣れるとともに、現代語訳との対応を理解し、内容を的確に読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆を通して、作者の世界観を感じ取る。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の感じ方、考え方を深める。	・指導事項 何を「うつくし」として取り上げているか挙げさせ、共通する特徴をまとめさせる。音読をし、古文の表現に慣れさせる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコン、一人1台端末の活用				○	【知識及び技能】 随筆の特徴を理解し、筆者の「うつくし」と感じるものについて共通点をまとめ、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分に関連付けて本文を読んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで古文を音読し、考えを深めようとしている。	○	○	○	6
	G 単元 読む「伊勢物語」(歌物語)	【知識及び技能】 歴史的仮名遣いに慣れるとともに、現代語訳との対応を理解し、内容を的確に読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 歌物語の特徴、展開を理解し、人物の心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌や和歌の背景にある心情、情景に親しむ。	・指導事項 歌物語の特徴、伊勢物語の文学史的概要を確認させる。それぞれの歌に託された人物の心情をまとめさせる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコン、一人1台端末の活用				○	【知識及び技能】 歌物語の特徴を理解し、歌の背景にある出来事、人物の心情を理解している。和歌の技法やリズムを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の展開を理解し、和歌の役割について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで古文を音読し、本文や和歌への理解を深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考查								○	○		1
3 学 期	H 単元 訓読の基本、故事成語(漢文)	【知識及び技能】 訓読の決まりを理解する。格言の意味、生まれた背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音読により、漢文のリズムを体感する。 【学びに向かう力、人間性等】 古文に親しむ。	・指導事項 音読を繰り返し行うとともに、書き下し、現代語訳を適切に行わせる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用、一人一台端末の活用				○	【知識及び技能】 訓読の決まりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容、展開を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に音読することで格言、故事成語に興味を持ち、考えを深めようとしている。	○	○	○	9
	I 単元 読む「おくのほそ道」(俳句)	【知識及び技能】 俳句の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 俳句の主題を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 俳句に親しむ。	・指導事項 定型、季語、切れ字などを確認させる。各句を音読させ、リズムを体感させる。主題をまとめさせる。 ・教材 教科書、ワークシート ・ICTパソコンの活用				○	【知識及び技能】 俳句の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 想像力を働かせて主題を読み取っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進ん俳句を読み、創作しようとしている。	○	○	○	8
	定期考查								○	○		合計
									○	○		70